

令和5年度 道徳教育総合支援事業より

「自己を見つめる道徳科授業の充実へ向けて」

令和5年度第2回福島県道徳教育推進協議会が2月に開催されました。域内からは南会津中学校の「自己を見つめ、深い学びを実現する道徳科授業」を目指した実践が紹介されました。詳細につきましては、年度末に発行される「道徳の礎」に掲載されますので、ぜひご覧ください。

また、南会津中学校で12月に開催された地区別推進協議会では、秋田公立美術大学副学長の毛内嘉威教授による講演がありました。以下に講演内容の一部を紹介しますので、今後の道徳教育の参考にいただければと思います。

【毛内教授の指導助言・講演より】

- 道徳科の教材研究では、学習指導要領の「内容項目の概要」を見て取り上げたい言葉を押さえ、価値を伝えるよう工夫したい。
- 授業構想の段階では考えられる発問をたくさん書いた方がよい。書いてから、授業で使う発問を考えていく。議論させたいならば、発問はしぼる。
- 道徳科の授業は、特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたずに行動するよう指導してはならない。多様な価値観を獲得させたい。
- 価値観の違いはなぜ起こるのか
親からの教育や生活習慣の違い、もともとの考え方の違い、周りの人からの影響、様々な経験の違いから起こる。
- 価値観の違いはどうしたらよいか
「この人はそう考えるんだな」と受け止める、相手を変えようとしなない。
相手の価値観を理解しようとする姿勢をもつ、お互いに本音を話してすり合わせをする。
違いを面白いがる、価値観はみんなが違う、みんなが違う価値観がある学校がよい。
- 道徳科の授業は、教える時間ではなく、子供も教師も考えていく姿勢が大切。生徒とともに語り合う授業を。

【南会津中の取組の成果より】

- 毛内教授のご指導のもと、「考え、議論する道徳科の授業」の実践として、「子供たちの思考を揺さぶる発問」、「テンポのよい指名」等について、研究を深めることができた。
- 心情円や心のものさし等の思考ツールの効果的な活用は、他者の考えにふれる時間の確保や自分の思いや考えの変容を自身で確認することにつながった。
- ICTの効果的な活用や、掲示板に「道徳アーカイブ」と銘打ち、授業の終わりに記載したそれぞれの思いを掲示したことは、自己や他者の思いの「見える化」として大いに効果があった。
- 「ローテーション授業」として、担任のみならず副担任の授業実践や管理職による授業実践を行ったことは、「道徳科」に対する全職員の意識の高揚につながった。



生徒のワークシートより

本時の価値(真の友達とは?)

- ・お互いに思いやって行動し、自分の気持ちを言い合える関係
- ・お互いに良いところも悪いところも認め合える関係

<道徳アーカイブの掲示>

【講演会参加者の感想より】

生徒の価値観を否定せず、正解も不正解もないのが道德であると改めて学ぶことができた。

様々な価値観について考えられる時間となった。グループの先生方と話をする時間も多く、新たな気づきを得られた。

授業づくりで大切なことを学んだ。
「道德は教える時間ではなく、子供たちと考える時間である。」

自分自身の価値観をしっかり持ち、生徒と語り合う、本音を聞けるような時間を過ごしていきたい。



子供に価値観をどうもたせるか、どのようにしてたくさんの価値観に触れさせるかよく考えながら教材研究していくことの大切さを感じた。

令和5年度 小中英語パートナーシップ事業より

小中英語パートナーシップ事業3年間のまとめとして年度末報告会が2月に開催されました。域内からは、館岩中学校と館岩小学校の連携した英語教育の取組が紹介されました。

館岩中学校区では、小学校4年生から中学校3年生までの領域別学習到達目標をまとめた全体計画のほかに、各学年の年間 CAN-DO リストや単元ごとの CAN-DO リストを作成しています。それを小中で共有したことにより、児童生徒が学びの見通しをもったり、自分ができるようになったことを自覚したりでき、やり取りする力の向上や学びの意欲の高まりにつながりました。

今後は、取組の成果を域内の他の中学校区でも積極的に取り入れ、小中連携の一層の充実を図っていければと思います。なお、CAN-DO リスト等の具体的な資料につきましては、年度末に義務教育課 HP に掲載される予定です。

Unit4 Summer Vacation in the World

① Unit Goal アラン先生に「館岩の四季」を伝えよう

① Lesson Schedule(こんなことを学ぼう)

時間	Today's CAN-DO (今日のめあて)	CAN-DO チェック T36 T47 T36 T47 T36 T47 T36 T47	この時間でレベルアップするか ★マークを付する					今日の振り返りと、 次回がんばりたいこと
			聞く	読む	やり取り	発表	書く	
1	夏休みの過ごし方などについてのやり取りのおよその内容を理解することができる。	😊 😊 😊 😊 😊	●					
2	夏休みにしたことについて聞いて理解することができる。	😊 😊 😊 😊 😊	●					
3	夏休みにしたこととその感想を聞いて理解することができる。	😊 😊 😊 😊 😊	●	○				
4	夏休みの思い出やその感想をたずね合うことができる。	😊 😊 😊 😊 😊			●			
5	「夏休みの記録メモ」を作って、やり取りすることができる。	😊 😊 😊 😊 😊			●	○		
6	世界の夏休みなどについて考え、世界と日本の文化に対する理解を深めることができる。	😊 😊 😊 😊 😊	●					
7	知りたいことを手に入れるキーワードを知り、アメリカについて理解を深めることができる。	😊 😊 😊 😊 😊	●	○				
8	自分が知っている「館岩の四季」を、自分がやってきたことを伝えながら、アラン先生に伝えることができる。	😊 😊 😊 😊 😊			●			

③ Unit Review

Unit Goal 達成率 %

④ Goal Script (こんなことが出来るようになるよ!)

Hi, everyone.

I went to Lake Inawashiro. It was large.

I enjoyed swimming. It was fun. I ate curry and rice.

Thank you for listening.

CAN-DO リストとは？
学習到達目標を「～できる」の形で設定し、言語活動を表した記述文のリストのこと

